

研修12 読むことについて①

○研修のねらい

「研修12」では、外国語科「読むこと」が設定された経緯や目標等を知り、言語活動をどのように単元に位置付けるか、児童の活動をどのように進めるかを考えます。そのことを通して「読むこと」を取り入れた単元づくりの基本について学びます。

外国語科「読むこと」の概要

外国語科「読むこと」の設定の経緯や、目標、指導上の留意点、中学年の外国語活動での文字に関する指導について確認します。

○「読むこと」に関連した従来の外国語活動の課題

- ・音声中心で学んだことが、中学校の段階で「音声から文字への学習」に円滑に接続されていないこと。
- ・高学年は、児童の抽象的な思考力が高まる段階であり、より体系的な学習が求められること。等

○「読むこと」の目標

- ア 活字体で書かれた文字を識別し、その読み方を発音することができるようにする。
 イ 音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語句や基本的な表現の意味が分かるようにする。

- ・中学年の「話すこと」、「聞くこと」の活動を踏まえた学習となるようにすること。
- ・中学校の内容の前倒しではなく、音声と文字とを関連付ける指導に留めること。

○「読むこと」の留意点

高学年から発達段階に応じて段階的に文字を「読むこと」を加えて総合的・系統的に扱う教科学習を行うとともに、中学校への接続を図ることを重視します。

- ・「推測しながら読む」ことにつながるよう、音声で十分に慣れ親しんだ語句や基本的な表現について、音声と文字とを関連付けて指導すること。
- ・日本語と英語との語順等の違いや、関連のある文や文構造のまとまりを認識できるようにすること。

○中学年の外国語活動での文字に関する指導

3 「指導計画の作成と内容の取扱い」

- (2) イ 文字については、児童の学習負担に配慮しつつ、音声によるコミュニケーションを補助するものとして取り扱うこと。

「読むこと」の言語活動の具体例

「読むこと」の言語活動には、次のような例があります。

言語活動例	具体例
(ア) 活字体で書かれた文字を見て、どの文字であるかやその文字が大文字であるか小文字であるかを識別する活動	<ul style="list-style-type: none"> ・不規則に並んだ活字体の文字を見ながら、該当する文字に丸を付ける。 ・自分の名前の綴りを言って、自分の名前を相手にしっかりと伝える。
(イ) 活字体で書かれた文字を見て、その読み方を適切に発音する活動	<ul style="list-style-type: none"> ・歌やチャンツを使って、文字には、名称と音があることに気付かせる。 ・指定したアルファベットから始まる単語をペアやグループで協力して制限時間内に多く言う。
(ウ) 日常生活に関する身近で簡単な事柄を内容とする掲示やパンフレット等から、自分が必要とする情報を得る活動	<ul style="list-style-type: none"> ・海外旅行のパンフレットから行きたい国で有名な食べ物やおすすめの季節等の情報を得る。 ・テレビ番組欄から、曜日や見たいスポーツ等の情報を得る。
(エ) 音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語句や基本的な表現を絵本等の中から識別する活動	<ul style="list-style-type: none"> ・絵本の読み聞かせをし、やりとりを行う中で、絵本の文から該当する単語を見付ける。 ・小学校の思い出アルバムを作成し、互いのアルバムを読んで、その意味を捉えさせる。

○単元における「読むこと」の言語活動の例（第5学年“When is your birthday?”）

上記の(ア)から(エ)の言語活動に対して、単元における「読むこと」に関わる言語活動例を示します。

時	活動例	言語活動例（読むこと）
第1・2時	祭りや行事に関するまとまりのある話を聞いておおよその内容を捉える。	<ul style="list-style-type: none"> ・アルファベットの大文字や小文字を識別する。 ・12か月の読み方を言う。 ・行事の読み方を言う。 ・誕生日カードを読む。 ・誕生日カードの To の後ろに自分の名前を書く。
第3時	好きな物について尋ねたり答えたりする。	<ul style="list-style-type: none"> ・色やスポーツの読み方を言う。
第4時	誕生日等を聞き取ったり、誕生日に欲しい物を尋ねたり答えたりする。	<ul style="list-style-type: none"> ・12か月の読み方を適切に発音する。 ・色の読み方を適切に発音する。 ・スポーツの読み方を適切に発音する。 ・誕生日カードの From の後ろに自分の名前を書く。
第5時	誕生日カードを書く。	<ul style="list-style-type: none"> ・アルファベットの大文字や小文字を識別する。 ・誕生日カードに12か月を表す単語を大文字で書く。 ・12か月の読み方を適切に発音する。
第6時	誕生日カードを書きながら、慣れ親しんだ表現を見て、意味が分かるようにする。	<ul style="list-style-type: none"> ・アルファベットの大文字や小文字を識別する。 ・書いた12か月を表す単語の読み方を適切に発音する。
第7時	カードに書かれている誕生日を読むとする。	<ul style="list-style-type: none"> ・カードを贈り合い、カードを読む。 ・書かれている内容について会話する。

研修12 読むことについて①

○事前に準備する物

- ・ 小学校学習指導要領解説 外国語編（文部科学省 平成29年 7月）
- ・ Hi, friends! 2
- ・ 研修12「解説編」（P 62、63）
- ・ 演習シート（P 92、93）

○研修の留意点

- ・ 「読むこと」の単元計画を立案する際、研修対象者が中学年での音声による指導や、中学校での指導を意識できるようにすること。

○研修例（45分）

時間	研修項目	研修内容	使用する物
8分	○外国語科「読むこと」の概要について理解すること。	○ウォームアップを行う。 ○研修のねらいを伝える。 ・「読むこと」と聞いてイメージすることを研修対象者にインタビューして、従来の中学校での指導との違いを明確にする。 ○「読むこと」に関連した従来の外国語活動の課題、「読むこと」の目標、「読むこと」の留意点、中学年での指導等について説明する。	・ 本書P 62、63
32分	○外国語科「読むこと」の言語活動について理解すること。 ○「読むこと」の言語活動を取り入れた単元の流れを考えること。	○外国語科「読むこと」の言語活動について説明する。 ○一単元の中に「読むこと」の言語活動をどのように取り入れていくかを考えるようにする。 （グループ活動：15分） ・ 児童が大文字と小文字を識別したり、読み方を発音したり、情報を得たり、語句や表現を識別したりすることを意識する。 ・ 考えた活動の流れを共有する。	・ 小学校学習指導要領解説 外国語編 ・ Hi, friends! 2 ・ 演習シート P 92、93

5分	○研修を振り返ること。	○研修を通して学んだことや今後の検討事項等を共有する。	
----	-------------	-----------------------------	--

○研修例（15分）

時間	研修項目	研修内容	使用する物
10分	○外国語科「読むこと」の概要について理解すること。	○研修のねらいを伝える。 ○外国語科「読むこと」の概要を伝える。 ・「読むこと」に関連した従来の外国語活動の課題 ・「読むこと」の目標 ・「読むこと」の留意点 ・中学年での指導等	・本書P62、63 ・小学校学習指導要領解説 外国語編
5分		○「読むこと」の言語活動例を伝える。	

新学習指導要領における外国語「読むこと」の扱い

コラム

新学習指導要領により、外国語活動が高学年から中学年へ移行し、高学年に外国語科が新設されたため、小学校に中学校の内容が前倒しされたかのような印象を受けるかもしれません。しかし、そうではありません。高学年に導入された外国語科の目標を「読むこと」に着目して読むと、

- (1) 読むことに慣れ親しみ、実際のコミュニケーションにおいて活用できる基礎的な技能を身に付けること。
 - (2) 音声で十分に慣れ親しんだ外国語の語彙や基本的な表現を推測しながら読み、自分の考えや気持ち等を伝え合うことができる基礎的な力を養うこと。
- が挙げられています。

(1)は、これまでに慣れ親しみ、声に出せるようになっている語彙や表現を可視化したものを、推測して読めることであって、音声と綴りの関係を理解し、未習の語彙を読めるようになることを目的としているわけではありません。

また、(2)は、児童が大まかな意味を理解する方法に慣れていることを前提としていますので、単語を見て、何度も発音されるのを聞いて、文字と音の関係を大まかに理解し、慣れ親しんだ単語が読めるようになることを求めています。

中学校で発音と綴りとを関連付けて指導することに留意し、小学校では音声と文字とを関連付ける指導に留めます。